

国際交流協会ニュース

—Ichihara International Association—



2023年11月21日 発行 市原市国際交流協会
〒290-8501 市原市国分寺台中央1-1-1 市原市役所 観光・国際交流課内
TEL 0436-23-9866 FAX 0436-21-0332
e-mail: iia@city.ichihara.lg.jp
ホームページアドレス <https://iia-ichihara.org/>



せいしやうねんほうちんだんらいし
モバイル青少年訪問団来市



こくまいこうりゆうおんがくさい
国際交流音楽祭

■市原市・米国アラバマ州モバイル市姉妹都市
提携30周年記念・2023年モバイル青少年
訪問団歓迎レセプション

■モバイル青少年訪問団来市
市原周辺の文化と人々に触れた9日間

■ボランティア通訳に参加して

■国際交流音楽祭 アジアの風 (民俗音楽)

■第13回サマースクール実施報告

■インターナショナルフレンドシップクラブ
チャレンジ韓国語 10回コース



サマースクール

いち はら し べい こく しゅう し し まい と し て い けい しゅう ねん き ねん
市原市・米国アラバマ州モバイル市 姉妹都市提携30周年記念
 ねん し せい しゅう ねん ほう もん だん かん げい
2023年モバイル市青少年訪問団歓迎 レセプション 2023・7・29

7月29日、五井グランドホテルにて、約150名が参加して、市原市とモバイル市の姉妹都市提携30周年記念レセプションが開かれた。当日は、市原市からは小出市長、モバイル市からは、C. J. Small氏 (Mobile City Council President)、Lisa C. Lambert氏 (Mobile City Clerk)、Benjamin Reynolds氏 (Mobile City Co-uncil)

の3名が出席され、ご挨拶の後、記念品が交換された。モバイル青少年訪問団が

らは寸劇等が披露され、和やかに歓談が進められた。



し せい しゅう ねん ほう もん だん らい し
モバイル市青少年訪問団来市
 いち はら しゅう へん ぶん か ひと びと か かん
市原周辺の文化と人々にふれた9日間 2023・7・23~7・31

市原市とモバイル市は、青少年の受入れと派遣を交互に実施してきたが、2019年以後、コロナで中断していた。本年は4年振りによりモバイル市の青少年訪問団（青少年10名、引率者3名の13名）を受入れ、ホストファミリーの協力を得て、市原市と周辺の見学や体験を楽しんだ。

7月24日(月)
上総更科公園、笠森、トロッコ列車、湖畔美術館、大多喜城見学
 笠森の緑に癒される。トロッコ列車に乗車してご機嫌。湖畔美術館の作品の前に全員集合。



7月26日(水)
武道館、歴史博物館見学
 武道館では弓道場に見学の後、弓に触れ、薙刀の体験では小中学生と2人一組で打ち合った。居合では真剣で竹を切るのを見て感動した。昨年11月に開館した歴史博物館を見学。遠い昔の本物の遺品を神妙な眼差しで見つめていた。体験学習では勾玉作り挑戦。初めは戸惑いながらも皆楽しく取り組み個性的な勾玉が完成した。



7月27日(木)
青少年交流会、日本文化体験
 午前市内の小中高生と青少年交流会。グループに分かれテーマに沿って意見交換や折り紙でコマなどを作り楽しんだ。午後は日本文化体験。茶道では皆座って真剣な面持ち。紅花染め体験では作業が進むに連れて染め上がる模様を感じた。



7月25日(火)
ライオン千葉工場・市原中央高校・市長表敬訪問
 市原中央高校にて学生とグループに分かれてデスカッションやゲームをして楽しんだ。



モバイル市青少年受入 ボランティア通訳に参加して

いしかわ たらう
石川 太郎

この度は、市原市と姉妹都市交流を行っているモバイル市からの学生たちの滞在に当たって通訳を担当させていただきました。善意通訳ボランティアに参加するのは今回がはじめてです。参加したのは1日だけでしたが、ライオン株式会社様の洗剤工場見学と市原中央高校への訪問、上総国分尼寺の見学、そして市長訪問と盛りだくさんでした。私が市原国際交流協会の善意通訳ボランティアに応募したきっかけは、大学生のころに所属していた留学生受入れのボランティア団体でした。本ボランティアを通じて再び

海外の方々と交流する機会に恵まれたことは大変ありがたく思っています。工場見学や国分尼寺では日本語のビデオや説明を通訳したり、質疑応答の通訳をしました。ビデオの通訳は特に難しく、半分も訳せたかどうかというように出来なくなってしまいましたが、派遣生たちには楽しんでもらえたようで、その手助けができて嬉しく思っています。また、アメリカの方々といろいろお話をできたことは大変刺激になりました。私自身アクティビティを通して市原市についてより深く知るきっかけにもなりまし

た。これからも国際交流協会を通して様々な人々と交流できればと思っています。また、海外の方々に市原市を楽しんでいただけるようお手伝いをできたら幸いです。



国際交流音楽祭

アジアの風 (民俗音楽)

2023・8・20

国際交流音楽祭
アジアの風 (民俗音楽)

出演 馬頭琴 テルゲルマー
カムラン トウタ・ムラティ
和太鼓 入江一之介 (わだてこ姫おいで)
ピアノ 鎌田しのぶ

2023年8月20日(日)
開演 13:00 (開場 12:30)
市原市民会館 小ホール

料金 1,000円 (全席自由) 小人・大人同一料金
チケット取扱い: 市民会館 (9:00~17:00) 6月1日より
電話予約 0570-043-043

市原市民会館: 市原南照社1丁目1-1
JR内線五井駅東口より 国分寺台方向徒歩15分

主催 市原国際交流協会
市原国際交流協会メール: iia_ichihara@iia.me.jp TEL 21-0332 (月・水・金休)

後援 市原市・市原市教育委員会

音楽祭は、普段あまり知られていない民俗音楽を通して文化の違いや、感動を味わっていただけたらと企画。当協会の事業としては、市民会館の小ホールとはいえお客様にチケットを買って和太鼓演奏 (日本)



頂きコンサートを開催するのは初めて。前年度から会場を探し、「音楽祭だから複数の国の演奏が無い」と言う意見もあり、予算との関係も考え3カ国に絞り出演者と交渉、馬頭琴のテルゲルマーさん、カムランのティニーさん、和太鼓の入江さん、皆さん快く受けて頂き感謝。

プログラムも日本語、英語、スペイン語、モンゴル語でボランティアの協力を得て作成、印刷はカラーですつもりが時間的に難しく白黒コピーになってしまったが、何とか音楽祭の形を作ることができた。演奏の1番目に日本を代表する和太鼓の演奏、会場からステージに向かって演奏しながら入場し一気に引き込まれた。2番目のカムランは、インドネシアの音楽で金属楽器と踊りの組み合わせで、踊りはもちろん衣装もきらびやかで異国情

カムラン演奏 (インドネシア)



緒を感じた。3番目の馬頭琴はピアノとの共演でどちらかというと、今まで聴いた馬頭琴の演奏は草原の力強さを感じたが、今回の演奏はバイオリンのようなやさしい音色が心地よかった。

最後は、馬頭琴、ピアノ、太鼓で「ふるさと」の演奏で締めくくり、市民会館のスタッフの協力もあり約250名の会場のお客さまにも喜んでいただけたと思う。この事業を通して翻訳だけでなくポスター作りや印刷、当日サポートして下さったボランティア、当日実行委員として裏方でサポートをした運営委員、皆で作上げた音楽祭だったと思う。何よりチケットを買って頂きながら当日参加できなかった方々には、是非次の機会がありましたら私達と一緒に楽しんでいただけたらと思います。

馬頭琴演奏 (モンゴル)



第13回サマースクール実施報告

29名が参加、午後の学習も4年振りに実施

2023・7・27

サマースクールは、日本語を母語としない小中学生を対象として、夏休みの宿題と、学科の問題を解決するための学習会です。2023（令和5）年度のサマースクールは、第13回で7月27日の木曜日に、市原青少年会館で開催されました。

新型コロナウイルス感染対策の為、第10回から第12回までは、午前中だけの学習会を行っていたのですが、今回は昼食の後、午後も学習を行いました。

「新型コロナウイルス」の取り扱いがインフルエンザウイルスと同じ第5類に変更になりましたが、感染に対する問題そのものは変わったわけではないため、マスクの着用は任意でしたが、換気等に注

意して学習を実施しました。

生徒はAクラス（小学1～3年生）15名、Bクラス（小学4～6年生）7名、Cクラス（中学生以上）5名、Dクラス（その他）2名の合計29名が参加しました。

参加した生徒さんの出身国を調べてみると、フィリピン3名、中国10名、モンゴル2名、ネパール1名、ペルー4名、パキスタン3名、ポリビア2名、日本2名、ベトナム2名でした。

学習は、ほぼ予定した時間通り進行し、午前は生徒が持参した宿題や苦手な学科を勉強しました。昼食は、3年ぶりにサンドイッチをみんなで楽しくいただきました。

午後は「ふしぎ探検隊」に来ていただき、①「冷却パックを作ろう」、②「スライムを作ろう」に取り組みました。実験を通じて温度を測定したり、手で触れてみたりしながら化学変化を学びました。

今回は、コロナウイルス感染対策を行いながらの学習会ではあったが、午前午後通しの学習が再開できたこと、学習者の参加数がほぼコロナ禍以前に回復したことが嬉しいことでした。

今回学習を支えて頂いたボランティアの皆さんは I I A の皆様、小中学校の先生方は国際教育部の先生方等色々な立場の皆様に参加して頂き、良いサマースクールが開催できたことに感謝いたします。



Aクラス、Bクラスの全体の学習状況



Cクラス（中学生以上）の学習状況



午後の学習「スライム作り」

インターナショナルフレンドシップクラブ
チャレンジ韓国語 10回コース

交流部会

2023・7・27

在住外国人の人とお国の言葉で挨拶が出来たらと、考え、身近に講師としてお願いできる鈴木良栄さん（韓国語講師）に話をしました。

手始めに前年度、会員を対象に募集。今年度、市の広報を通して市民の方を募集したところ思いがけず25名の応募があり、クラスを2つにしました。それぞれの事情で参加できない人も出てきましたが、それでも20名弱が続けて韓国語と向

き合っています。始めは見慣れないハンゲル文字も見慣れてくるとわからなくても先生の楽しい解説を聞きながらテキストとなじんでいきます。受講者は、本名ではなく、韓国語で呼んでほしい名前をつけ、授業に臨んでいます。韓流ドラマのヒロインや、俳優の名前など早い者勝ちで、同じ名前があったらじゃんけんで決めました。中にはユニークな誰とも重ならない食べ物名前をつけた人もいます。ゆっくり

楽しみながら、次のステップに行く人と、とどまる人それぞれです。次年度も募集をする予定です。

